障がい者優先調達 NEWS

～そのお仕事、障がい者就労施設に発注できませんか？～

VOL.13 平成 26 年 6 月 6 日発行
（毎月第 1 金曜日発行予定）
長野県 健康福祉部 障がい者支援課
TEL:026-235-7105(直通)
FAX:026-234-2369
E-MAIL:fuku-jiritsu@pref.nagano.lg.jp

■ 市町村のみなさん　平成26年度の調達方針作成はお済みですか？

「国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律」第9条では、都道府県、市町村及び地方独立行政法人は、毎年度、調達方針を作成しなければならないとされております。厚労省の調査結果では、平成25年度の全国市町村の作成状況は、58.0%でしたが、長野県におきましては、残念ながら37の市町村が作成をされず、51.9%に留まってしまいました。

法の趣旨等をご理解いただき、平成26年度は、県内の全ての市町村が作成されますよう、ご協力を宜しくお願いいたします。

■平成 25 年度の調達実績をご報告願います！

また、法第 9 条第 5 項では、毎会計年度又は事業年度の終了後、遅滞なく、調達実績の概要を取りまとめ、公表するものとされており、先般、平成 25 年度の実績報告をお願いしているところです。厚労省には、市町村等の状況を取りまとめ報告をしますが、取りまとめていただいた実績の概要は市町村 HP 等をご活用いただき、公表に努めてくださいますようお願いいたします。

■ 農業就労チャレンジ事業スタート！

県では、今年度から障がい者の農業分野での就労を促進するため、「農業就労チャレンジ事業」に取組んでいます。「しあわせ信州創造プラン」に基づくプロジェクトの一つで、主には就労継続支援 B 型事業所の施設外就労の拡大を企図するため、農家や農業法人と B 型事業所を結ぶ「農業就労チャレンジコーディネーター」と、実際の作業現場において農作業を監督し作業補助を行う「農業就労チャレンジサポーター」を募集しています。

ご不明な点等がございましたら、事業の委託先である、NPO 法人長野県セルプセンター協議会までお問合わせください。

今月は、松本市でリサイクル企業を経営し、障がい者の雇用拡大に努めていらっしゃる春山孝造様から、ご意見をいただきましたので、ご高覧ください。

■地域に根ざした「地域一体型リサイクル会社」を目指すとともに、障がい者雇用の促進に努めてまいります。

株式会社しんえこ代表取締役社長　春山孝造

「障がい者優先調達推進法」が施行され１年が経ちました。県をはじめ市町村でも、年間の調達方針を作成し公表することとされており、それぞれの自治体が法律の趣旨を踏まえ、鋭意努力して取組んでいることが伺えます。

法律では、各自治体が障がい者就労施設等からの物品や役務サービスの調達に取組むとしていますが、その先にあるものは、やはり、「障がい者の雇用」拡大ではないでしょうか？

私ども、株式会社しんえこでは、現在、リサイクル業務を通じ、障がい者の雇用拡大に取組んでおり、僭越ではありますが、取組内容をご紹介させていただきたいと思います。

私どもは、リサイクル業務を単に資源回収事業として捉えるのではなく、地域の方々と共に環境と資源の保全のために、リサイクル活動に無理なく気軽に参加していただける仕組みとして、「もったいないＢＯＸ」事業に取り組んでいます。この事で、地域から排出されるリサイクル資源を基に、地域の企業が地域の人たちによって再資源化される仕組み「地域循環型事業」を構築したいと考えています。

「もったいないＢＯＸ」事業は、「ゴミにするのはもったいない」をスローガンに
①24 時間いつでも地域の皆様が便利に利用できる常設の資源回収所を開設。
②松本山雅後援会「YELL」事業として、障がい者就労ネットワークと連携し競技場内の資源物分別回収を行う。
③社会福祉事業所との資源物回収の連携。
④障がい者就労支援事業者への就労訓練場所と材料の提供。
⑤小型家電解体作業を通じて障がい者雇用の推進。　などの事業で構成されています。

また、当社ではもったいないＢＯＸ事業の一環として、今年度６月には本社工場敷地内に、小型家電解体等の技術を習得した約２０名の障がいを持った方々が働くことのできる小型家電類専用の解体工場を開設いたしました。社員が明るく、安全な職場環境の中でやりがいを持って働くことのでき、一人ひとりの技術と個性が活かせる次世代型の工場をめざしたいと考えています。

長野県の豊かな環境と歴史文化のなかで、私ども株式会社しんえこの事業が老若男女、障がい者も健常者もがつながりあい、よりよい地域環境を築いていくためのささやかな拠点としての役割を果たしていくことができれば幸いです。

地域の皆さま、各団体の皆さま、各事業所の皆さま、そして行政の皆さまのより一層のご指導、ご鞭撻をいただきますようお願い致します。

生まれ育った地域で生き生きと～、いなりやま共同作業

事業所の母体でもある社会福祉法人いなりやま福祉会は今年度、地域の皆様、関係する多くの方々の支えにより法人認可 10 周年を迎えることができました。
現在、多機能型事業所「いなりやま共同作業所」では就労移行、就労継続支援 B 型、生活介護のサービスを行っています。

事業所名	いなりやま福祉会 いなりやま共同作業所	所在地	千曲市大字稲荷山 2152-1
電話番号	026-273-2825	FAX	026-273-2842
事業種別	多機能型事業所	E-mail	Inari2825@net5.s-net21.ne.jp
URL	http://www.geocities.jp/mantennohoshikirakira/	担当者名	荒井　宏之

≪お仕事・製品紹介≫

あなたの笑顔が見たいから気持ちを込めて作業しています！

- 下請け作業…箱折り、取扱説明書の袋詰め等
- 清掃作業…老人施設、建設事務所、県庁
- 自主製品製作…ふきん縫製、さをり織り、袋物(右写真)等
- 菓子製造…せんべい

≪デザインせんべい始めました≫

昔懐かしい味を大切にし、お子様からお年寄りまでに喜ばれる『いな福のさくさくせんべい』を製造しています。今年度からフードプリンターを導入し、画像一枚から作れるデザインせんべいの製造も始めました。
デザインせんべいは行事の記念品や、地域活性化の PR、企業広告まで幅広く対応できます。15 枚入り、3～5 枚入れの小分けタイプも用意していますのでイベントには重宝されています。
是非、今後のイベント等でご活用ください。

＜NPO 法人　長野県セルプセンター協議会　事業化推進員からの一言＞
本事業所は、所長を中心にチームワークのとれた、利用者さんの思いを大切にしたアットホームな事業所で、各種の仕事を確実にこなし、年々実績を向上させてきました。上記の『いな福のさくさくせんべい』は、今年度「信州千曲ブランド」にも認定されました。私も大好きなお菓子ですので、多くの皆様にも奨め喜ばれてきました。また、役務の清掃作業も誠実に頑張っています。ご用命のほどよろしくお願いいたします。
担当：小林　邦廣

阿智に　集い･働く･暮らす　　夢のつばさの仲間たち

阿智村園原・花桃祭りでの販売
村長さんと一緒に

夢のつばさは、2005 年に地域の方々、保護者の方々の熱い思いから、下伊那郡阿智村に建てられた施設です。

地域の皆さまと共に…をモットーに、村内の夏祭り・駅伝大会・収穫祭などの行事に積極的に参加しています。

施設名	阿智村多機能型事業所 夢のつばさ	所在地	下伊那郡阿智村春日 3291-4
電話番号	0265-43-3737	FAX	0265-43-3788
施設種別	就労継続支援Ｂ型、就労移行支援、 生活介護	E-mail	yume@mis.jaini.or.jp
URL	http://www.yume-tsubasa.com	担当者名	所長　原　正秋

＜夢のつばさの“夢くるみん”＞

夢のつばさの秋はくるみの収穫から始まります。収穫したくるみは、様々な工程を経て、焼き菓子に使います。地元のくるみと、はちみつ、長野県産の小麦粉で作ったお菓子、“夢くるみん”は、第 20 回信州味のコンクールで優秀賞をいただいています。サクサク、しっとり、そして後味さっぱりのスイーツです。

その他、ふじリンゴ、紅玉リンゴを使った 2 種類のアップルパイも夢のつばさ人気の商品です。

＜お気軽にご相談ください!!＞

結婚式や、各種イベントにデザイン、ご予算に応じて、焼き菓子のご提案をさせていただいています。手作りのパン教室も行っています。

夢のつばさオリジナルの手漉き紙を使って作った名刺は、阿智村役場職員の方々からご注文をいただいています。休耕田を使っての米作り、花の植え込み、草刈りなどの外注作業もご要望に応じて取り組んでいます。お気軽にご相談ください。

＜NPO 法人　長野県セルプセンター協議会　事業化推進員からの一言＞

熱心に研究開発に取組む事業所で、自主商品（製菓・農産物加工）はグレードの高い商品が沢山あります。地域での評判も良く、売行き好調で推移しております。喫茶事業・役務サービスにも積極的に取組み、ご用命に十分応えられる事業所です。是非ご一報をお待ちしております。

担当：梅津　義雄

こんにちは！　長野県セルプセンター協議会さん！！

これまで3回にわたり、長野県の共同受注窓口である「NPO法人長野県セルプセンター協議会」の事業化推進員の皆様を紹介してまいりましたが、最終回の今回は、今年度から新たにスタートした「農業就労チャレンジ事業」の中心的役割を担っていただいている沖村さんと、協議会事務局長の常田さんをご紹介します。

No. 1

名前：　沖村　さやか

役職名：　農業就労チャレンジ推進員（県全域を担当）
連絡先名称・電話番号：長野県セルプセンター協議会　026-291-8280

業務経歴

新現役チャレンジ支援事業事務局、ナビゲーター、中小企業支援ネットワークアドバイザー、食品流通市場展開推進事業推進員、求人開拓員

座右の銘

～死ぬこと以外はかすり傷～

今、一番はまっていることは？

映画鑑賞、音楽鑑賞、四川省（PC のゲームです）

≪障がい者就労施設等に期待すること≫

販路があっての製造、アウトプットあってのインプットという事を自覚して、世の中のニーズのあるものを製造し、商売上手になって欲しいと思います。
今年度から、「農業就労チャレンジ事業」が始まりました。
すでに、１０件以上の問合せをいただいております。業務委託契約を結べるような農業就労をし、工賃アップを目指したいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。
これまでは、通所者を連れての農作業となると、現場の負担も大きかったと思います。
事業所の負担軽減にもつながるかと思いますので、是非、当事業をご利用下さい。

≪行政に期待すること≫

『こういうものが欲しいのだけど…。』というような具体的なご相談等をセルプにいただきたいと思います。１００％とは言えませんがなるべく、ご意向にそった商品等を取り扱う事業所をご紹介いたします。誠実にものづくりをしているので、沢山買って下さい。
農業就労チャレンジ事業においては、農福商工連携を目指したいと思っています。
農家だけでなく、農業に係る企業等の情報がございましたら、連絡頂きたいと思います。

No. 2

名前：　常田　信行

役職名：　長野県セルプセンター協議会・事業部長兼事務局長

連絡先名称・電話番号：長野県セルプセンター協議会　026-291-8280

業務経歴

長野県職員として一般行政に携わってきました。その中で、福祉事務所のケースワーカーとして障がい福祉関係を担当したことが（人としての）大きな財産となりました。

座右の銘

「一期一会」
人と人との出会いは一度限りのものと心得、相手に対して精一杯尽くして参りたいと思います。

今、一番はまっていることは？

プラモデルづくりです。最近の作品は昭和３０年代の三輪トラックでした。

≪障がい者就労施設等に期待すること≫

福祉の推進と工賃アップは相対するものではないと認識されたいこと。
工賃実績が高い事業所は設備・体制内容もよく考えられていて、福祉の充実度も高い傾向にあると思うのです。工賃向上は最終目的ではありませんが、事業を通して障がい者が地域の中で自立した生活を目指すための就労につながることや社会参加が普通にできるための大きな手段でしょうか。
その手段を確保するためにセルプセンターでは、各種のセミナー・研修会を開催します。業務煩瑣な日常の中で１日空けることは大変なことですが、受講され持ち帰り実践されることで必ずお役にたつものと思料いたします。奮ってご参加ください。

≪行政に期待すること≫

まず、地元の施設や事業所を知ってくださること。
その中で、事業所等ができることと行政ニーズとのマッチングが可能となるのではないかと思います。
通知などの封入・封緘業務、施設内外の清掃等役務の提供などは大歓迎ですが、単発発注が重なる場合は、集中することなく時間的な余裕を戴ければありがたく存じます。
とりあえず、セルプセンターや事業所へ照会や要望をお聞かせください。